

2. 各産地（地域）における調査結果のポイント

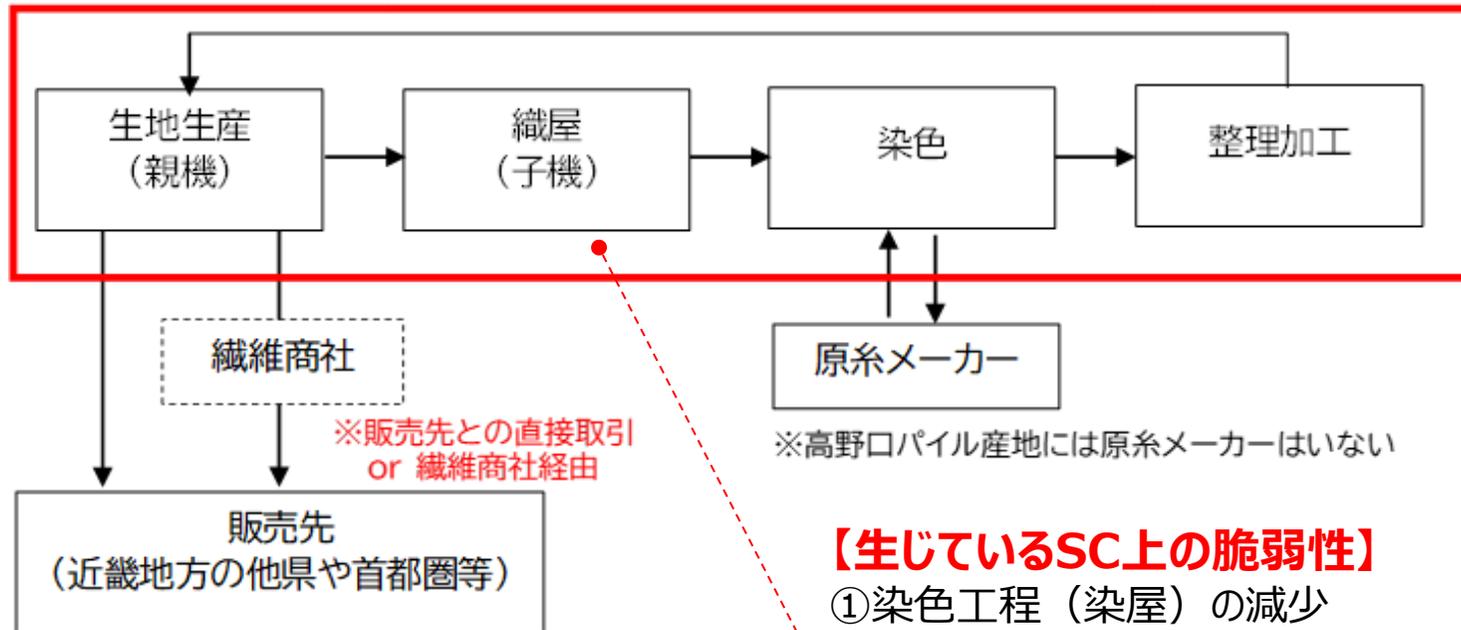
(1) 和歌山・高野口パイル産地のSC構造と脆弱性

親機—子機による産地内分業体制が構築

- 高野口パイル産地のSC構造について、ヒアリング等の結果をもとに整理すると以下ようになる。
- 生地生産（親機）の中には、産地内大手企業を中心に「場内一貫生産（生地生産～整理加工までをすべて内製化）」するケースもみられる
- 加えて、生地に風合いを施す「整理加工」については、産地外（例：京都や大阪）に一部を出しているケースもみられる

[SC構造の整理]

高野口パイル生産のサプライチェーン構造



【生じているSC上の脆弱性】

- ①染色工程（染屋）の減少
- ②外注先の織屋（子機）の減少
- ③織機の老朽化と保守部品の枯渇
- ④関連技能を持つ個人事業主等の廃業

2. 各産地（地域）における調査結果のポイント

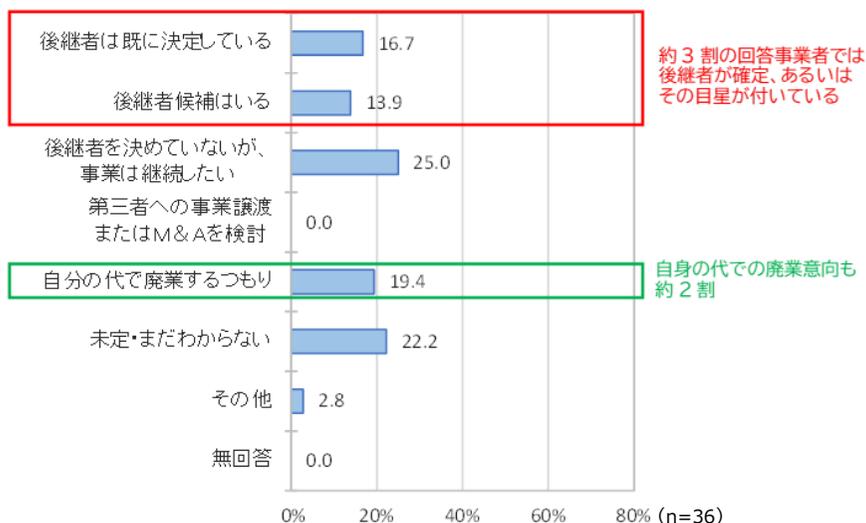
（2）和歌山・高野口パイル産地における事業承継の現状と課題

■ 企業における事業承継の現状と課題

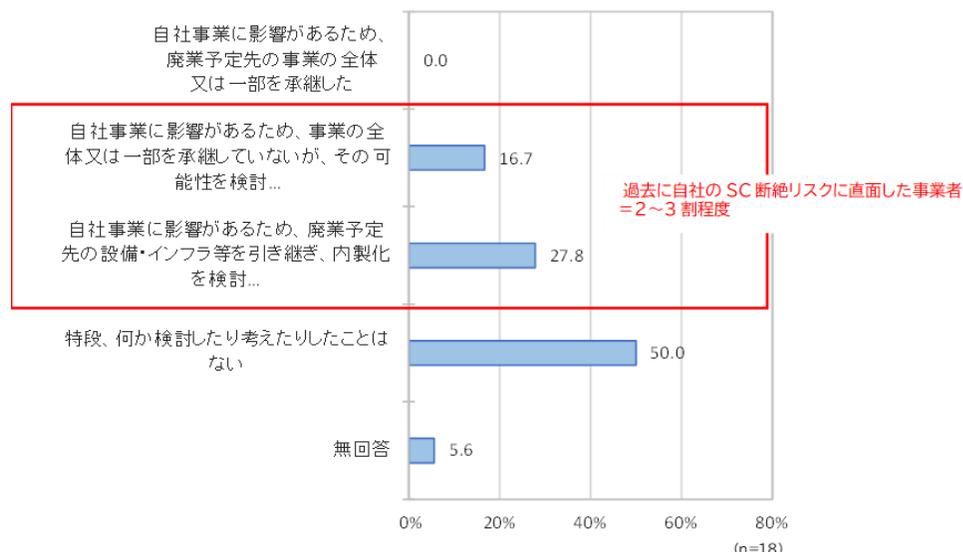
多くの事業者で「後継者が決まっていない」「対策がなされていない」状況
取引先の廃業情報等についても、様々なネットワークを通じて入ってくる状況

- 事業承継の現状では、「後継者を決まていないが、事業は継続したい」が25.0%と最も多く、次いで「未定・まだわからない」が22.2%となっている。「後継者は既に決定している」（16.7%）と「後継者候補はいる」（13.9%）を合わせると、約3割の回答事業者では後継者やその目星は付いていることがうかがえる
- 取引先の廃業等の情報を事前に見聞きた経験は、回答のあった事業者のうち半数。うち、取引先の廃業情報に接した際の自社の行動等について、自社のSC断絶リスクをふまえて、2～3割の事業者が過去に何らかの検討を行った経験を持つ

事業承継の現状



取引先の廃業情報に接した際の自社の行動等



【ヒアリングでの声】

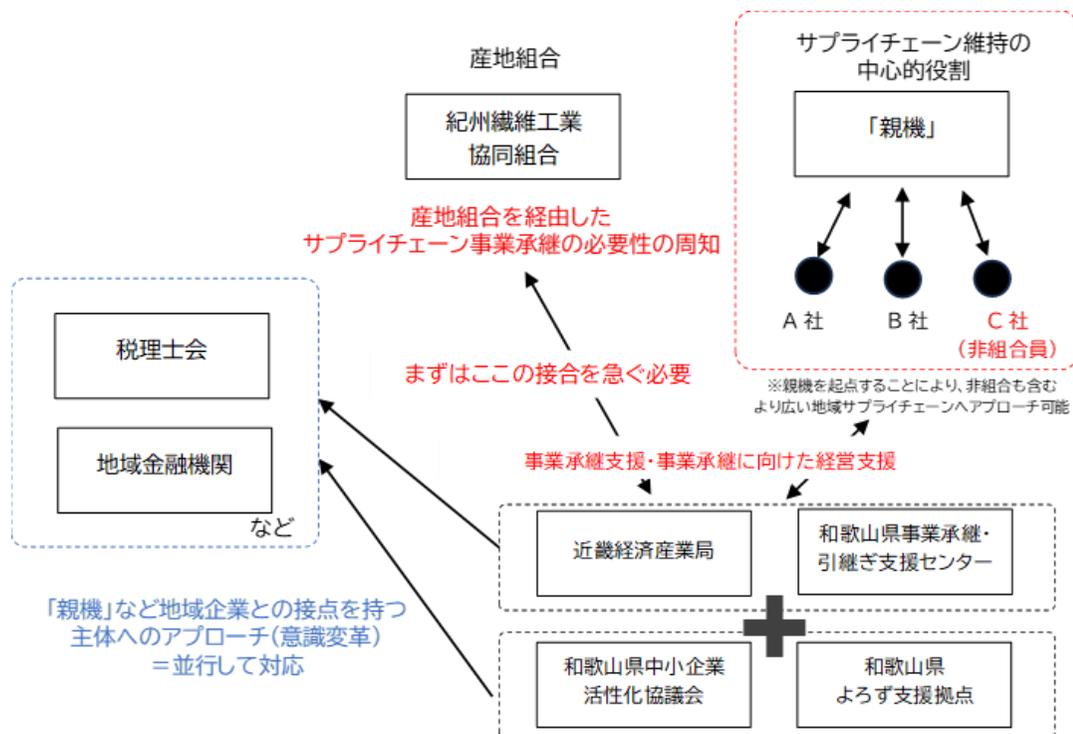
- 取引先の廃業情報等についても、様々なネットワークを通じて日々入ってくる
- 事業全体又は一部や生産設備（織機・染色機など）の引継ぎについて、親機の経営者では実際に事業や生産設備を引き取った経験がある事業者も多い

2. 各産地（地域）における調査結果のポイント

(3) 和歌山・高野口パイル産地における支援体制の検討

SCの棄損を防ぐセーフティネットと産地活性化への取組

- 直近で急ぐべきアクションとして、**これ以上のSC棄損を防ぐセーフティネットが必要**
- **高野口パイル産地における中核的企業（＝親機）へのSC維持×事業承継の意識づけ**を行い、SC断絶リスクを低減することが必要
- **事業承継支援・事業承継に向けた経営支援**を産地側に提供することが重要



【事業承継に当たって】
実際の事業承継においては、産地内企業による事業承継が理想的ではあるが、サプライチェーン維持の観点では、地域外企業への第三者承継(M&A等)も方策として、望ましい